

13. ライグラス類冠さび病病菌レースの存在

山口県農業試験場
環境部病害虫研究室

目的・背景

ライグラス類冠さび病の防除に抵抗性品種の栽培がとりあげられている。しかし病菌にレースがあると抵抗性品種の罹病化や病菌レースに対する抵抗性品種育成が必要となる。本邦における病菌レースの有無を明らかにする。

成果の内容

本邦ではライグラス類冠さび病菌に、病原力の強い菌株と弱い菌株はあっても、病菌レースの存在は認められなかった。

活用面と留意点

- (1) 本邦全域のライグラス類栽培地帯及び品種育成場所、系統適応・特性検定試験場所の品種育成に適応する。ライグラス類冠さび病に対するイタリアンライグラス、ペレニアルライグラス抵抗性品種栽培及び育成にあたり、病菌レースの変遷による罹病化を懸念することなく、安定した抵抗性品種栽培及び育成に活用できる。
- (2) 市販品種でライグラス類冠さび病の抵抗性品種は、イタリアンライグラスではエース、ワセホープ、テティラ、ウエストラなど、ペレニアルライグラスではキヨサト、ヤツガネなどである。
- (3) アメリカのイタリアンライグラス抵抗性品種、W : Florida Rust-Resistant、Stoneville Rust-Resistant は日本でもライグラス類冠さび病に対して抵抗性とみられる。

研究課題と発表論文

牧草及び飼料作物病害の防除に関する研究（指定試験）、昭和46～。

杉山正樹・松本邦彦・角田佳則（1986）：ライグラス類冠さび病菌レースについて。日植病報52（1）：121（講要）。

（杉山正樹・松本邦彦・中田栄一郎・角田佳則）

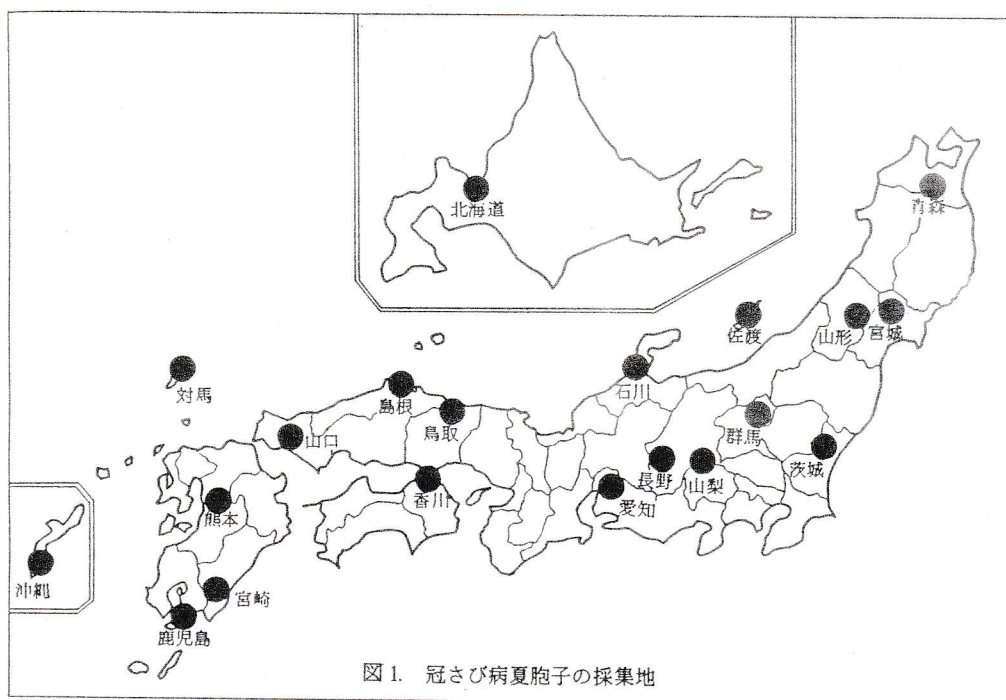


図1. 冠さび病夏胞子の採集地

表1. 各地採集冠さび病菌の判別品種に対する病原性の差異

判別品種	感 染 型													
	北海道	青森	宮城	山形	佐渡	茨城	山梨	石川	愛知	鳥取	香川	対馬	沖縄	
感 受 性	2 a)	2.9	1.9	2.8	2.9	2.8	2.9	2.6	2.6	2.7	3.0	2.7	2.6	2.8
	3	2.9	2.7	2.7	2.7	2.8	3.0	2.4	2.7	2.5	2.9	2.7	2.9	2.8
	4	2.9	2.4	2.6	2.8	3.0	2.9	2.5	2.2	2.6	3.0	2.6	2.8	2.6
	7 8	2.9	2.1	2.5	2.9	2.9	2.8	2.4	2.9	2.6	3.0	2.8	2.8	2.9
	平 均	2.9	2.3	2.7	2.8	2.9	2.9	2.5	2.5	2.6	3.0	2.7	2.8	2.8
中 間 性	8 1	2.0	2.3	1.6	1.8	2.2	2.3	1.5	1.2	1.5	2.4	2.0	2.6	2.0
	9 0	2.2	2.2	2.7	1.9	2.5	2.6	1.9	1.8	1.8	2.7	2.1	2.5	1.9
	1 2 9	2.7	1.2	2.2	2.5	2.7	2.4	2.1	2.5	2.1	2.9	2.6	2.7	2.2
	平 均	2.3	1.9	2.2	2.1	2.5	2.4	1.8	1.8	1.8	2.7	2.2	2.6	2.0
抵 抗 性	1 7 9	0.7	0.0	0.1	0.3	1.6	0.2	0.3	0.1	0.4	2.1	1.3	2.5	-
	1 8 0	1.1	0.3	0.3	0.8	1.9	0.7	0.6	0.2	0.8	1.9	1.8	2.3	-
	4 0	0.3	0.1	0.2	0.4	0.3	0.3	0.4	0.1	0.7	0.5	1.2	0.3	0.9
	4 1	0.7	0.3	0.1	0.9	0.8	0.5	0.7	0.3	0.9	0.6	1.5	0.8	1.1
	6 8	0.7	0.1	0.4	0.7	0.8	0.3	0.5	0.2	0.6	0.9	0.5	1.0	-
	1 0 2	1.0	0.4	1.2	0.6	1.1	0.9	0.6	0.5	0.6	1.1	0.5	1.2	0.6
平 均	0.8	0.2	0.4	0.6	1.1	0.5	0.5	0.2	0.7	1.2	1.1	1.4	0.9	

a) 品種番号